

東京 2020 オリンピック聖火リレー 気運醸成事業

【団体名】中仙道蕨宿商店街振興組合

【担当部署】総務部政策企画室

【提案型】指定テーマ

1. 事業の目的

東京 2020 オリンピック・パラリンピック、特に蕨市を通る聖火リレーの開催に向け、宿場町の風情を大切にしながら、聖火リレー沿道の装飾や応援等を行い、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成を図る。

2. 実施内容

(1) 実施期間

令和3年7月

(2) 実施場所

旧中山道 中山道本町通り

(3) 対象者

市民及び市外からの来街者

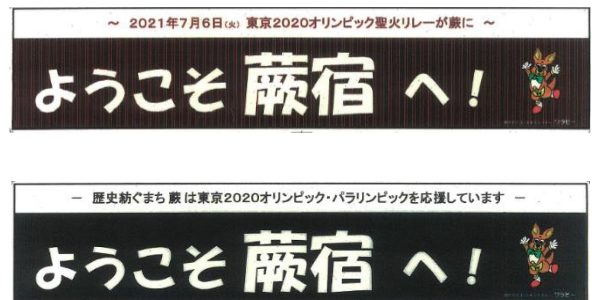
(4) 実施方法

- ・商店街街路灯へフラッグを掲示する。
- ・旧中山道、中山道本町通り入り口付近（北町交番付近、国道 17 号付近）へ横断幕を設置する。
- ・旧中山道、中山道本町通りにのぼり旗を設置する。

▼商店街街路灯に掲示したフラッグ



▼中山道本町通りに設置した横断幕



▼沿道の写真①



▼演奏の写真②



3. 役割分担

団体：上記事業の実施に関すること

市：エンブレム使用等、協働事業に係る事項のオリンピック組織委員会との調整、確認、参画プログラム認証の手続き 等

4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 485,980 円（すべて蕨市協働事業補助金）

(2) 支出の主な内容

横断幕、フラッグ等の作成料、ポールスタンド等清掃料 他

(3) 収支決算

収入

支出

市補助金	500,000 円	街路灯フラッグ作成料一式	299,200 円
		横断幕作成料一式	120,780 円
		ポールスタンド等清掃費用	66,000 円
合計	500,000 円	合計	485,980 円

(収入>500,000 円 - (支出) 485,980 円 = 14,020 円)

5. 協働による効果

協働事業として実施することで、商店街や町会など地域一体となって気運醸成を図ることができた。また、宿場町の風情を大切にしたい沿道の装飾等を通じて、蕨らしさあふれる聖火リレーとなり、次代を担う若者や子どもたちにとって、心に残るイベントにすることができた。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

1964年東京オリンピック聖火リレーが通過した際、中仙道蕨宿商店街振興組合のメンバーの多くが幼少期に沿道で声援を送った思い出があり、当時の興奮と感動はいまだに鮮明に記憶されている。この度、協働事業として聖火リレーの実施に携わることで、こうした特別な体験を私たち市民の手で次代を担う若者たちに継承することができたと感じている。

【担当課より】

コロナ禍の影響により、予定していた事業を縮小せざるを得ない状況となったが、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成とともに、蕨らしさを有した素晴らしい聖火リレーを実施することができた背景には、当該事業の実施団体である同振興組合による尽力が欠かせなかった。